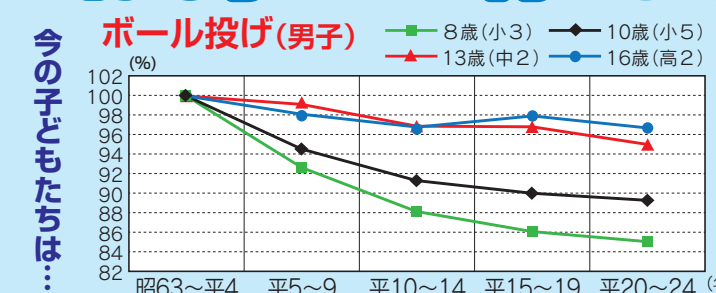


指導者・保護者・学校・地域の人々で！

スポーツが好き！運動が好き！ そんな子どもを育てましょう！



●体力が低下しています。
●運動実施の二極化が見られます。→**活発に運動する児童とそうでない児童の基本動作習得の格差が広がっています。**

※特にスポーツクラブに所属していない児童の運動実施時間が短い状況です。

小学生スポーツ活動への期待

- 将来にわたってスポーツに関わっていく豊かなスポーツライフを構築する上で重要である。
- 相手とのあいさつ、目標に向かって頑張る心、勝敗への正しい態度、ルールやマナーを守るなど協調性や責任感、社会性などの人間性を身に付けることができます。
- 身のこなし、運動を持続する力、力強さなどが伸びる時期です。



小学生スポーツ活動の充実に向けて

- 1 クラブ内で、青少年健全育成の理念にもつじた運営について共通理解をしましょう。
- あいさつや礼儀など心の成長を促す指導に心がけましょう。
- 子どもを伸ばすため、研修会に積極的に参加しましょう。
- 2 子どもたちにあった練習日程・大会参加計画を考えましょう。
- 週の練習は3日程度。原則として土日のいずれかは休養日にしましょう。
- 大会の参加計画を含む年間活動計画を作成し、見直しを持った指導をしましょう。
- 3 学校の教育活動に支障を来さないように、学校と話し合いの場を設けるなど連絡・調整を密にしましょう。

保護者としてどんなサポートをすればいいの？

- 基本的な生活習慣づくりに努めると共に、学校生活とのバランスを考えましょう。
- 指導者や審判の非難をせず、指導者や子どもたちの良きサポーターになりましょう。

みんなで見守っていきましょう

スポーツ場面における体罰や言葉の暴力が、全国的に問題となっています。子どもたちが心身ともに元気でスポーツに親しめるよう、みんなで見守っていきましょう。

問合せ先 県教委スポーツ健康教育課 電話 0857(26)7922

シリーズ 県立米子東高等学校の取組

科学を創造する人財育成～学校を超えた切磋琢磨～

本校では、科学への興味や関心を高め、科学を追求することの意義や楽しさを理解することにより、将来の科学技術の振興を担う人材を育成することを目的として、「科学を創造する人財育成事業」に取り組んでいます。

平成22年度から実施しているこの事業では、最先端の科学に関する講演、数学コンテストや物理・化学・生物に関する実験体験を行っており、昨年は、県内からの7校に加えて島根県からも3校の参加があり、学校や県の枠を超えた取組となっています。

生徒の感想
講演会は最初から最後まで多くを学ぶことができ、勉強よりもっと重要なことについて学べよかったです。
科学実験は、最初は戸惑ってしまいましたが、先生方からヒントを少しずつもらい、それがつながったときは快感でした。来年も参加したいです！

＜平成25年度の予定＞
10月26日(土)
9:20～11:30 講演会 「iPS細胞が開いた新しい生命科学」
講師 戸口田淳也氏(京都大学iPS細胞研究所・教授・副所長)
13:00～16:00 数学コンテスト
科学実験 物理分野:「気柱の共鳴」 科学分野:「無機化合物の分析」 生物分野:「カエルの解剖」

HPアドレス <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/yonagoe-h/> 問合せ先 県立米子東高等学校 電話 0859(22)2178

鳥取県のエキスパート教員

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。

今回は県立米子養護学校の永井弓子教諭(認定分野:音楽)に、合唱やダンスなどを取り入れた音楽学習(知的障がいのある高等部生徒の自尊感情や表現力を高める指導)の取組について、お話を伺いました。

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。

今回は県立米子養護学校の永井弓子教諭(認定分野:音楽)に、合唱やダンスなどを取り入れた音楽学習(知的障がいのある高等部生徒の自尊感情や表現力を高める指導)の取組について、お話を伺いました。

～ほめることは、私と子どもをつなぐ魔法の言葉！！～
「すごーい!!」「よく声が出たね!!」「姿勢がいいね!!」など、ふだんよく使われているほめ言葉です。誰もほめられるのはうれしいことです。何気ない子どもの行動に対しても、ほめ言葉によって子どもはグンとやる気になります。ほめ言葉は、教師と子どもをつなぐ「魔法の言葉」であると思っています。

通常の中学校から高等部に入学者の中には、障がい起因する学びにくさや経験不足、ほめられた経験の乏しさなどから、自己肯定感がとても低い生徒が少なくありません。「無理」という言葉が習慣になっていたりと歌うことが嫌いだったり、自信をもって自分を表現する力がとても弱いと感じています。

☆**ほめることの重要性**☆
まず、ほめることで私と生徒の関係性ができていきます。一人一人の生徒のちょっとした変化をとらえてほめます。そうすると次回からその生徒が私を見る目が変わります。いつもうつむき加減で私と目を合すことができなかつた生徒が目を見るようになり、笑顔が現れると「よし!!」と嬉しくなります。歌うことが苦手な生徒には、よりほめることが必要なのです。

ほめ方
①めざす行動をイメージしやすい言葉(聴覚)で見分けるように(視覚)伝えます。②できたら即時に評価(ほめる)します。③名前を呼んでほめることで生徒の存在感を伝えます。④生徒のできたところ・よいところをほめます。決して他の生徒と比べません。⑤よくない行動に対しては、その行動を指摘し、改善できたら即時にほめます。

☆**良い経験を!**☆
同じ学習をしても、その時の子どもの感情が快であるか不快であるかによって経験が違ってきます。心地よい感情で活動することで、プラスの記憶が残り、その子どもが人生を生き抜く糧となっていくのです。

問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575

「ふるさと鳥取コーナー」オープン!!!

～鳥取県立図書館2階郷土資料室で「鳥取県」を知ろう～

県立図書館の2階郷土資料室をリニューアルし、鳥取県の優れた文学をはじめとする文化、自然、歴史、人物等に関する図書等を、テーマごとに展示し、子どもから大人まで、「鳥取県」を丸ごと知ることができるコーナーを開設しました。みなさん、是非ご来館ください。

「ふるさと鳥取コーナー」は、4つのコーナーで構成しています。

- ふるさと情報コーナー**
鳥取の自然、産業、歴史、文化等に関する図書や資料をテーマごとにまとめ、子どもたちの調べ学習にも利用していただけます。
(砂丘、大山、三徳山、山陰海岸ジオパーク、災害、産業、特産品、民芸、文化、祭、伝統行事、童謡唱歌、民話、歴史、遺跡など)
- ふるさと文学コーナー**
鳥取県出身の文学者の作品・関連書籍や鳥取県を舞台にした作品などを、文学者ごとにまとめました。
(尾崎放哉、尾崎翠、河本緑石、生田長江、生田蕃月、鳥取が舞台となった文学など)
- ふるさと人物コーナー**
日本の政治・法律、教育・福祉、経済・産業、文化等に貢献した鳥取県出身の方の著書や関連図書を、活躍されたテーマごとにまとめました。
(奥田義人、澤田廉三、碧川かた、岸本辰雄、糸賀一雄、鬼塚喜八郎、佐武林蔵、北脇永治、遠山正瑛、吉田璋也、岡野貞一など)
- まんが王国とっとりリコーナー**
鳥取県出身の漫画家の漫画作品と著書・関連書籍、鳥取県を舞台にした漫画作品などを集めました。
(水木しげる、谷口ジロー、青山剛昌、鳥取が舞台となった漫画など)

問合せ先 県立図書館 電話 0857(26)8155

毎週土曜日は博物館で、誰かと一緒にアートな時間を!

みなさんは、博物館や美術館での思い出をお持ちですか?博物館で見た不思議な生物。美術館で見た美しい絵画。ある調査によると、多くの人の博物館・美術館での思い出は、「一緒に行った人との出来事」であることが多いそうです。そこにある作品や展示物もさることながら、それ以上に心に残るのは「誰かと何かをしたこと」なのです。

鳥取県立博物館の美術部門では「毎週土曜日はアートの日!」とし、ワークショップやアートシアター、ギャラリートークなど、さまざまなイベントを年間約50回行っています。その名の通り、毎週土曜日に県立博物館において、必ずアートとの出会いの場が用意されているというもの。親子で肩を並べて何かを作ったり、普段はなかなか見られないアニメーションや映画を友達と一緒に鑑賞したり。「誰かと何かをする」にはぴったりの場所です。芸術の秋本番!土曜の午後は博物館で、誰かと一緒に素敵な思い出の一コマを作ってみませんか?

問合せ先 県立博物館 電話 0857(26)8042

アートとの出会いの場「毎週土曜日はアートの日!」の詳細内容は、年間4回発行するリーフレット等をご覧ください。

カラフルな編み模様のリーフレットです。博物館、図書館、ギャラリーなどに置いていただいていますので、ご自由にお取りください。

私たちは働きたいです!! ～特別支援学校生徒の就労促進に向けた取組～

平成25年4月1日より、障がい者の法定雇用率が引き上げになりました(民間企業:1.8%⇒2.0%)。特別支援学校では、圏域ごとに就労促進セミナーを開催し、企業等に向けた理解・啓発に積極的に取り組んでいます。こうした取組が、生徒の企業等における現場実習先や就業先の拡大等につながるケースも見られ始めています。「私達も働きたい!」という生徒の意欲や情熱をぜひ知っていただき、今後も皆様の一層のご協力をお願いします。

東部地区就労促進セミナーの様子

- 期 日 平成25年7月12日
- 参加校 東部地区特別支援学校5校(会場:県立鳥取養護学校)
- 参加企業 36社
- 参加者 のべ207名

参加企業の声
・生徒達が一生懸命努力していることがよく分かる内容であった。企業としても支援しながら協力して行う必要があると思った。
・本日はありがとうございました。今後、障がい者雇用に取り組めます。よろしくお願いします。

平成25年度 特別支援学校就労促進セミナー
【中部】期日:平成25年11月19日(火) 会場:県立琴の浦高等特別支援学校
【西部】期日:平成25年9月12日(木) 会場:県立米子養護学校
問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575

平成24年度 高等部等 卒業生の進路状況

| 進路 | 人数 | 割合 |
|---------|-----|-------|
| 企業等への就職 | 51人 | 35.7% |
| 福祉就労 | 49人 | 34.3% |
| 進学 | 8人 | 5.6% |
| 生活介護 | 17人 | 11.9% |
| 在宅 | 7人 | 4.9% |
| 職業訓練 | 3人 | 2.1% |
| その他 | 8人 | 5.6% |

平成24年度は、高等部及び専攻科の就職希望者65人のうち51人(78.5%)が企業等への就職をしました。